

平成24年度 第2回 府中市桜通り等改修事業検討協議会議事録

1 日時 平成24年11月6日（火）午前10時00分から午後0時00分

2 場所 府中市役所北庁舎3階第3会議室

3 出席者

(1) 桜通り等改修事業検討協議会委員

神 庭 正 則	出 席
福 嶋 司	出 席
伊 藤 敏 春	出 席
長 谷 川 光 男	出 席
藤 澤 光 男	出 席

過半数の出席により会議は有効に成立

(2) 事務局出席者

青木都市整備部長

平石都市整備部次長

土木課 大原課長補佐

” 遠藤主査

” 高橋主査

” 染谷技術職員

(3) 傍聴者

0名

4 進行

- 1 前回会議の確認について
街路樹について
- 2 桜通り等の交通規制について
- 3 桜通り等の植栽間隔の状況について
- 4 公共施設との連携について
- 5 桜の特徴について
- 6 その他

5 資料

平成24年度第2回府中市桜通り等改修事業検討協議会

6 会議内容（協議結果）

Ⅱ 次第1 前回会議の確認について 街路樹について

【協議会の意見】

（委員） 桜通り沿道の住民の意見が重要である。落ち葉清掃、日陰、歩道のでこぼこ等の課題について検討する必要がある。

（委員） 桜通り沿道の住民は、ほとんどお年寄りであり、落ち葉が多く清掃が大変であるという意見があるが、桜がなくなつては困るといった意見もある。

（委員） 時代背景により桜まつりも予算が削られているため、10年、20年先に開催されなくなるのではないかと意見がある。

桜は基本であるが、地元の意向を尊重しなければ問題が生じてしまう。例えば府中公園などに桜を移植するといった考え方もあるのではないか。もちろん桜だけでなく、例えば野球場の近くには紅葉が楽しめるような木を植えるなど、桜をメインにするのはもちろんであるが、分散型にする方法もある。

（事務局） 庁内検討会では、桜まつりの予算が削られているという事や、将来的になくしていくといった話はない。桜まつりは約20万人の方が集まる祭りであり、市としては力を入れている。

（委員） 将来府中市の名物になるような大きな桜を公共施設に植え、その周りに小さい桜を植え、市民の憩いの場にするとなお良いのではないか。

（委員） 落ち葉清掃は構わないが、開花後、すぐ芯のようなものが落ち、それが雨樋等に落ち掃除が困難という意見がある。今までは梯子をかけてやっていたが、沿道住民も高齢であり、掃除が難しい。市で掃除をしてくれないかという意見がある。

（事務局） 桜通り以外の場所でも落ち葉が樋に詰まるという意見が寄せられているが、市で予算化は難しいため、市民の方にご協力いただいている。

（会長） 危険な桜は枝ぶりの小さい桜に入れ替えていき、全体の体積を減らすことにより少しは軽減されるのではないか。

（委員） 老木のため、植え替えを早くやって欲しいという意見がある。桜がなくなるとすることは非常に皆さん残念に思っている。

（委員） 桜を大事にしながら、あまり影響を及ぼさない樹種に交換していきたい。

（委員） 今あるソメイヨシノをどこか広い場所に植えること等は可能か。

（会長） 今あるソメイヨシノを移植する金額を考えると、植替えたほうが安いと考えられる。由緒正しい木等にしていかなければならない。

（委員） せっかく植え替えるのだから、名所になることを視野に入れて検討して

いきたい。

(事務局) 桜まつりは1週間程度開催し、市外からの観光も含め約20万人の方が来るため、観光名所にしていくことも必要であると考えている。

(会 長) 桜を基本とし、極力住民の迷惑にならないような桜を植え替えていく。

(委 員) 歩道の起伏がすごいので、太くならないような桜を選ぶべきである。

(会 長) 障害にならないもの、かつ花は美しくて、あちこちに広がりすぎないような樹種を考えていきたい。

(2) 次第2 桜通り等の交通規制について

【協議会の意見】

(会 長) 一方通行は、通過車両だけでなく、利用している地域住民にも影響があるため、実際に考えてみるとなかなか難しい。

(委 員) 地域住民、交通上の様々な支障があり難しい。

(3) 次第3 桜通り等の植栽間隔の状況について

【協議会の意見】

(委 員) 現在の植樹間隔は、かなり密に植えているという部分がある。将来のことを考えて、本数の間隔を考えていくことによる改善も検討したい。

(副会長) 一般的に街路樹の植栽間隔は8mから10mという間隔がある。しかし、ソメイヨシノの特性から現状では枝が建物側には伸びられないので車道側に伸びていくような形になるので、10mという間隔は、壮齢化したソメイヨシノに対しては難しい。太い幹を維持させるには、それだけの枝葉が必要になる。

(会 長) 木も十分生きられる環境が望ましい。ソメイヨシノは特に横に張るのでどうしても狭くなる。

(委 員) 歩道内でのすれ違い時に桜のあるところではどちらかが待たなければならない。

(会 長) 現地を見ながら判断していきたい。

(4) 次第4 公共施設との連携について

【協議会の意見】

(委 員) 公共用地の接道していない部分についても検討していかなければならない。

(委 員) 沿道の整備イメージができると良い。

(委 員) 公共用地を利用し、できるだけ樹木の本数を減らさず有効幅員2mを確保できるよう整備を進めることが望ましい。

(事務局) 今後、各管理者と協議し、協力していただけるかどうかを相談したい。

(委 員) 寿中央公園は、昨年、公園を改修する際、植栽をせず避難場所や防災倉

庫を設けている。ソメイヨシノを植えても、公園であればあまり近隣に迷惑がかからないのではないかな。

石垣を取って、大きい桜を植えることにより市民が休める、遊べるようにするのも良いのではないかな。

(委 員) 沿道が住宅地のところは、現地を見ながらあまり暴れないような木で進め、公共用地は、大きい木を植えたい。

(委 員) 府中市民球場や農業高校は早急に広げてもらいたい。できれば農業高校の畑辺りにも桜を広げていければより良いのではないかな。

(5) 次第5 桜の特徴について

【協議会の意見】

(委 員) 開花時期は桜まつりと同時期が望ましい。

(委 員) 3月下旬から4月上旬がよく、現在の咲き方が一番良い。

(委 員) 1、2本は府中公園の脇等に植え、時期がずれることにより逆にそこでお弁当を食べられるという考えもある。

(委 員) ソメイヨシノは今のところにそのまま植えるのは無理ではないかな。

(委 員) 重要なのは高さではないかな。

(委 員) 街路樹は高さより横に広がらない木を選ぶべきではないかな。

(委 員) 間隔や高さ、樹形を絞り、樹種はお任せしたい。

(事務局) 根上がりを対策する工法を取り、根が伸びるスペースを確保する必要がある。

(委 員) 景観については、あまり地味じゃない派手なものが良い。

(委 員) 飛田給のサッカー場までの道路に植えられている桜は赤過ぎるのでそこまで赤くないものが良い。

(委 員) 若木と老木で花の色は変わるのか。

(事務局) 若木と老木では花の色はあまり変わらない。咲き始めは色が濃く、咲き終わりは色が薄くなることはある。大きくなると色が濃く見えるのは、花の数が増えることによって濃くなった印象が出てくる可能性はある。

(委 員) 何種類か樹種を絞り込み、実際に咲いている桜を見に行った方が良い。

(委 員) 桜通り南側の日が当たらない場所で苗木を植えた場合、しっかり育つか。

(事務局) 現状で桜が育っているところであれば、今と同じぐらいの大きさには成長するという印象はある。むしろ大きくなってからの方が光を要求するため、山の桜も周りの木と競り合いながら間延びしたような桜が見られる。

(委 員) 光の来るほうに枝を伸ばすと、傾いた樹形になってしまうのが心配である。

(事務局) そういう意味では苗木から育てるとするのは厳しいかもしれない。もう少し大きくした状態で移植する方がよいと思う。

- (委 員) 何mぐらいのものを移植すれば大丈夫なのか。
- (事務局) 現場、日当たり状況、今の木の状態を見て判断できる。
- (委 員) 大きくなるときでも、伸びていくときに曲がっていかないか。
- (事務局) 光の方に枝が増えていくので、幹自体は曲がらない。
- (委 員) 植える時期については、一気に植え替えるのが一番良いが。
- (委 員) 駄目になった木から植え替えた方が良いのではないか。
- (委 員) 危険な桜を切りながら道路整備と同時期に植え替えとなると何年かは華やかではないが我慢する必要がある。

(事務局) 道路整備及び桜の植え替えを同時に進めることは、財政の厳しい時代なので難しい。延長が2 km程あるため、施工範囲をブロックに分け10年から20年かけて施工することになると考えられる。ただし、倒木等の危険がある桜は、適宜切る必要がある。

(委 員) 道路工事と桜は関係無いのではないか。

(事務局) 桜の植え替えを先行し、その後道路整備をするのと、桜の植え替えと道路整備を同時に行うのでは費用が余計にかかるため、桜の植え替えと道路整備は同時に行う必要があると考えている。

(委 員) 施工に際しては、植栽間隔も並行して考えていかなければならない。

(事務局) 害虫について、寒緋桜の葉がちょっとごわごわしたような感じのものは、毛虫が食べていない。

また、テングス病という病気は、ソメイヨシノがかかりやすいと言われているが、他の桜に比べて何百倍という数が植えられているためであり、他の桜より弱いと思われやすいだけである。ただ、ソメイヨシノは、大きくなり過ぎるためテングス病がつくと処理ができないという課題がある。

(委 員) 病気や害虫に強い桜はないということなのか。

(事務局) 特定種類の害虫や病気に強い桜はあるかもしれないが、特別この樹種がいろいろな病気や害虫に強いというのは、しっかりとした検証結果が無いため一概には言えない。

(会 長) 本日の協議会のまとめは、次の通りである。

花期については桜祭りとの絡みで、3月下旬から4月上旬、樹形等については横に広がらないものが良いということで、大島桜系統については大変、八重に関しては候補から除外しなければならない。あとは、毒々しくないものである必要があるだろう。

市の考えとしては、出来るところから工区を設定して工事したいとのこと。

光の当たりにくいところに関しては、ある程度大きなものを植えることで変形樹になるリスクを抑えられる。また、植栽間隔については、それぞれの樹木が十分に成長できる間隔を確保し、工事を進める際には、根上がりや起きないよう対策をとる必要があるとの議論をいただいた。

可能性のある樹種を絞り込めると思うが、実際に見に行った方が良い。

(6) 次第6 その他

第3回府中市桜通り等改修事業検討協議会について、判断材料にするため実際に咲いている桜を見て検討していく。

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証するため、ここに署名する。

会 長 福 嶋 司

委 員 (長谷川委員)

長谷川光男